

9月号

鳥が丘



横浜市立鳥が丘小学校

暑さをのりこえ ゆっくりスタート

校長 高田 桂太郎

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってまいりました。8月27日の初日には、長い休み明けで子どもたちもさぞ辛いのではないかと心配していましたが、そんな必要もなく多くの子どもたちが「おはようございます！」と元気に挨拶をして登校してきました。

その日の朝会で、「今朝は、長い休みのをり越え、久しぶりの登校で、気が重かった人もいるのではないのでしょうか。でも行かなきゃなああと勇気を出してランドセルを背負い、今教室で先生の話聞いてくれている皆さん、今日はそれだけで合格です。」というような話をしました。

私自身、小学校時代に夏休み明けは非常に辛かったことを覚えています。私の場合は、遊びまくっていた日々が終わり、また勉強かという思いが強かったのだと思いますが、感受性が強かったり、感覚がとても敏感だったりする子にとっては、環境の変化が普通の子の何倍もストレスになっていることが最近の研究でわかってきました。学校生活の中では、年度の始まりや長い休み明けがそうですが、宿泊行事や遠足、運動会など一見子どもたちにとって楽しい活動でも心はいつもと違う生活の流れにストレスを感じていることがあるそうです。しかも本人は、その自覚がないことがよくあるそうで、たまったストレスが身体症状として現れ、さっきまで元気だったのに急に体調を崩すこともあるそうです。特に元気でやんちゃだと思われている子は周りの人にも気付かれず、本当は一休みした方がよいのに、みんなに「頑張れ。」と励まされて、さらに頑張ってしまうこともあるようです。

だから、子どもたちには、この夏休み明けは「頑張るぞ！」という気持ちと「もっと休みたい。」という気持ちとバランスよく付き合って、秋に向かっての様々な活動に向けて安心してスタートを切って欲しいと思っています。ご家庭でも何か気が付くことがあれば遠慮なく学校へもお知らせください。

さて、この夏休みには様々なお祭りに顔を出させていただきました。子どもたちの学校とはまた違う笑顔に出会うことができ、普段から子どもたちを見守ってくださる地域の皆様に改めて感謝申し上げます。また、今年度から始まった和太鼓クラブやキッズクラブのソーラン節などの発表の機会もいただき、練習の成果を発揮できた子どもたちは、さらに自信をつけたことと思います。ありがとうございました。

さて、学校では秋に向けて4,5,6年生は宿泊体験学習があります。また1,2,3年生は遠足があります。子どもたちの楽しみにしている行事ですので、思い出に残る活動になるよう安全第一で計画を進めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。